



曲 豆 友

第175号

<https://bussei.gr.jp/>

Buzanbussei
Buyu

題字 浅井侃雄 貌下

オンライン講習会 動画公開のお知らせ



豊山仏青公式Webサイトでは会員向けコンテンツとして、これまでの講習会の収録動画や、太鼓の学習用動画などを公開しております。

このたび、令和4年12月17日(土)に開催されたオンライン講習会【—いまの社会に活かす—「ウェルビーイング(Well-being)な年忌法要」を考える】のアーカイブ動画を公開いたしました。

青年僧侶が現代社会に貢献できるよう、通夜葬儀の連絡の受け方から当日の細かい流れ・ご法事の意義をお檀家様へ上手に伝える方法などを、「ウェルビーイング」をキーワードに考えていく講義となっております。是非ともご覧くださいませ。

アーカイブ動画

—いまの社会に活かす—

「ウェルビーイング(Well-being)な年忌法要」を考える

「Health is a state of complete physical, mental and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity.」

——健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。

<世界保健機関憲章前文(日本WHO協会仮訳)より引用>

【講師】

沼尻憲尚師

栃木二号 長福院 住職

大正大学(専攻:仏教学専攻博士後期課程)修了
真言宗豊山派 総合研究院 事相研究所 元研究員
東洋大学講義「仏教の芸能(声明)」非常勤外部講師
豊山聲明大成刊行会幹事



※公開設定を「限定公開」としているため、YouTubeの検索には表示されません。会員向けコンテンツ内に掲載された動画を再生、または動画URLに直接アクセスした場合のみ視聴できます。会員向けコンテンツへのアクセス方法につきましては、本紙の裏表紙をご参照ください。

※豊山仏青では、「こんな講習を聴いてみたい」「○○の参考になる資料が欲しい」など、会員の皆さまからのご要望を随時お待ちしております。Webサイトのお問い合わせページより、ご意見をお寄せください。



令和五年一月十日(火)、真言宗総本山教王護国寺(東寺)様の御影堂におきまして、「全真言宗青年連盟東寺下賜千二百年記念法会」が厳修されました。こちらの法会は、今より遙か千二百年前となる弘仁十四年(823)、東寺が嵯峨天皇よりお大師様(弘法大師空海)へと託されたことを記念するものです。

法会には、全真言宗青年連盟に所属する各会派の皆様が参列されました。真言宗豊山派仏教青年会執行部員からも出仕をさせて頂きましたことを、ここに報告致します。

全真言宗青年連盟東寺下賜千二百年記念法会

仏教青年会によせて



総本山長谷寺 寺務長
川俣海淳 台下

宝龜五年(774)年にお大師様はお生まれになり、千二百五十年の星霜を経て本年、令和五年に至りました。この間、真言宗は連綿と法脈を継ぎ我々にその法燈は受け継がれています。

今、社会情勢を鑑みるに、三年前から始まったコロナ禍、これにより人々の繋がりが希薄になり、活気も失われたように感じます。また、争いも始まり多くの無辜の命が奪われています。そして新しい価値観と古い価値観とが軋轢を生じさせ、社会の変容を万人が感じるところとなっています。このような時代に真言宗豊山派の青年僧侶を始め我々宗教者は、どのように考え、どのように成さなければならぬのか、皆一様に迷い、手探りで歩んでいること思っています。

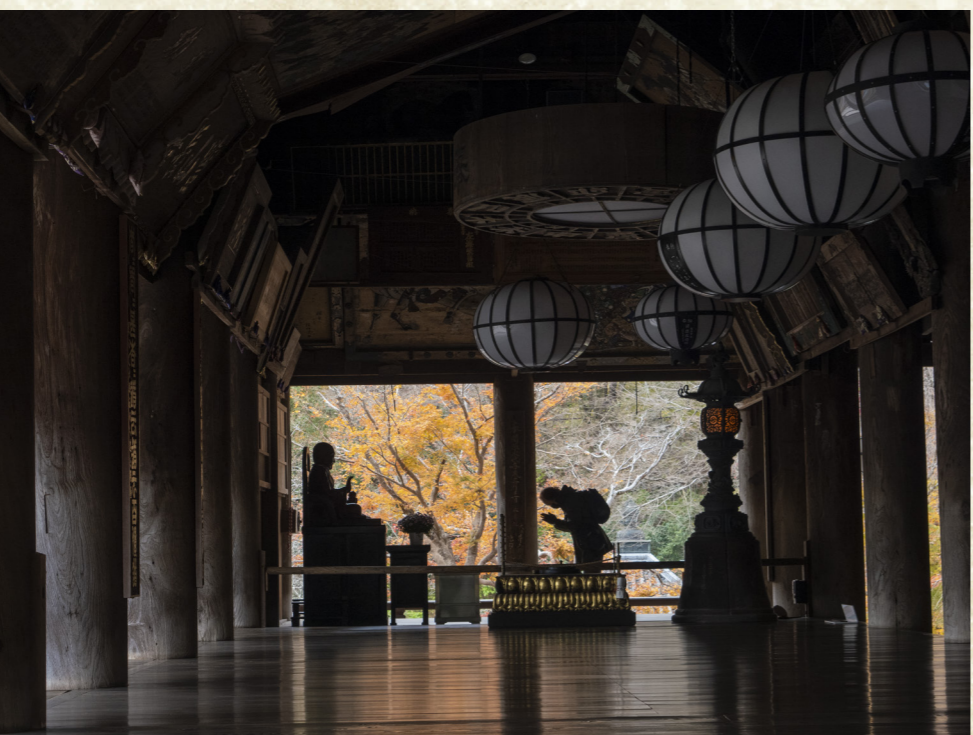
この度、豊山派仏教青年会から十一月に第四十九回全国結集を長谷寺で行いたいという要請を受けました、大変喜ばしいことです。混沌の時代に法燈を継ぐため問題を共有し、色々と試してください。うまくいかない時は止めれば良いのです。

長谷寺ではコロナ禍に見舞われた際、まずこのコロナという悪鬼を退散させるため護符の作成を始めました。それは皆様も知ることと思います。長谷寺

本尊の十一面観世音菩薩、その額の仏面の最上段にある頂上仏面は疫病を防ぐに第一とされ、『長谷寺験記』にも疫病を治めた話が伝わっております。また真言宗における摩多利神曼荼羅を出し、今でも本堂に掲げています。

そしてコロナ禍で「長谷寺に来れないなら、こちらから赴こう」という掛け声のもと「遙拝団参」を始めました。その昔、馬頭夫人という唐の妃が、その都である長安(現在の西安)から長谷寺の観音様に懇願に祈りを捧げたところその想いは通じ千四百キロの距離を超えて願いが叶ったといわれています。自宅に、自坊に居ながら観音様に、長谷寺に詣でる、それは実際に長谷寺に来て観音様に拝む事と異ならない事として、たくさんさんの寺院がその「遙拝団参」を利用していただきました。

さらに大画軸のレプリカを作成しました。元々、大画軸というのは本尊の設計図として室町時代に白描画で描かれ、それを江戸時代に着色、表装したと伝わります。その目的は長谷観音の大きさを、長谷観音のお慈悲の深さを、長谷観音を知らない方に目の当たりにしていただき、観音様の功德を教化布教に使用したと言われます。軸装されているのでお軸のように丸めると全長六メートル、これを大八車などに乗せて方々を巡ったようです。このように長谷寺から持ち出すために作られた大画軸ですが、奈良県指定の文化財となり、同じように搬出するには大変な作業となるため、高精細にデジタルスキャンして布に印刷したレプリカを作りました。これは同じ





大きさですが折り畳む事ができ、重さも二十七・三キロと持ち運ぶ事が容易となりました。これによって、基調講演や声明公演、支所主催の講演会などに使用する事ができ、来場者の方々に観音の威光を直に感じていただき、「迫力があって感動した」「美しい観音様と声明がありがたい」などの声を頂戴しました。

本年六月には東京五号支所の仏教青年会主催の「弘法大師をたたえる夕べ」に野外設置可能の大画軸をお披露目する事となります。また、新潟で行われる、アトミックスジャパンという日本の伝統芸能保持者を集めたイベントに声明公演をする際にも、大画軸を背に声明を披露する予定となっています。さらに東京で行われる西国三十三所主催の西国と坂東、秩父の観音霊場を合わせた百観音お砂踏み「日本百観音in東京」にも大画軸を貸し出す事となりました。

派内にとどまらずあらゆる方々に貸し出す準備をしており、ましてや豊山派の仏青や支所の方々には是非とも積極的に大画軸を教化布教に使用していただければと思います。

弘法大師御生誕千二百五十年の節目を迎えるこの期に、「蒼生の福を増せ」を実践して、人々の幸福を増やす事が、弘法大師御生誕を寿ぐ事にもつながることでしょう。次代を担う青年僧侶諸賢には、大いに期待するところです。

今後の予定

写仏講座

令和五年 四月十四日(金)

令和五年 五月十日(水)

令和五年 六月九日(金)

いずれも十三時開始・十四時三十分終了

真言宗豊山派 宗務所にて

※以後の開催予定日につきましては、随時Webサイト・Facebookにて告知いたします。

豊山仏青WEBサイト 写仏ページ
<https://www.busseijp.jp/teaching>



花まつり千僧法要

令和五年 四月二十六日(水)

華嚴宗大本山 東大寺 大仏殿にて

※全日本仏教青年会主催

弘法大師御生誕千二百五十年

記念慶讃法要

令和五年 五月十五日(月)

真言宗豊山派 総本山長谷寺にて

※宗派行事

全青連結集第四十三回 善通寺大会

令和五年 十二月七日(火)

豊山単独結集第四十九回 長谷寺大会

令和五年 十二月十四日(火)

編集後記

令和四年も瞬く間に過ぎ去り、新たな年を迎えました。日ごとに春の訪れを感じる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、令和五年は「弘法大師御生誕千二百五十年」となる記念すべき年であります。

真言宗豊山派 総本山長谷寺様におかれましては、昨年六月十五日(水)に「弘法大師御生誕千二百五十年記念慶讃総登嶺開白法要」が厳修されたことに始まり、本年十二月三十一日(日)の結願に至るまで、御生誕にちなんだ様々な記念事業が企画・開催されております。

折しも豊山派仏教青年会では、本年十一月十四日(火)に「豊山単独結集 長谷寺大会」の開催を計画しております。是非とも、皆様方のご参加とお力添えを頂きたく存じます。

最後に、今回の『豊友』一七五号刊行にあたり、総本山長谷寺 寺務長 川俣海淳 台より、我々青年僧侶に向けた玉稿を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

広報次長 木村修廣

豊山仏青Webサイト

写仏講座・千響チャリティー演奏は

検索



Facebook

www.facebook.com/buzanbussei/



豊友お問い合わせ先

webussei@gmail.com

豊友 第175号

令和五年3月30日発行

発行人 木村 修明

発行所 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目40番8号
真言宗豊山派宗務総合庁舎内 真言宗豊山派仏教青年会

デザイン・印刷 株式会社 ディー・エイ・ティ・コーポレーション